

第 16 回(令和元年度)  
日本原子力学会北関東支部 技術功労賞  
選考結果のお知らせ

「第 16 回(令和元年度)日本原子力学会北関東支部技術功労賞」の選考において、北関東支部 表彰に関する細則に基づいて審議を行った結果、次の 2 件が技術功労賞に該当するとの結論を得ましたので、ご報告致します。

本賞は、北関東支部管内の組織、企業等を対象に、原子力に関する研究開発施設やプラントの運転管理、安全確保等の技術支援分野において優れた貢献をした個人または団体に対して、その功労をたたえるものです。なお、今年度は新型コロナウイルス感染対策のため表彰式は開催せず、支部幹事より代表へ直接賞状と副賞の贈呈を行います。

受賞概要

第 33 号

日本原子力研究開発機構 大洗研究所  
高温ガス炉研究開発センター 水素・熱利用研究開発部 IS プロセス試験グループ  
代表 久保 真治 様

○受賞案件名

「熱化学水素製造法 IS プロセスの工業材料性反応器開発と長時間水素製造達成」

○受賞概要

高温ガス炉の冷却材出口温度が高いことを利用して水素製造に繋げる IS プロセスは、排熱を燃料電池用の水素として備蓄でき、ヨウ素(I)や硫黄(S)をループの中で使用することで環境へ有害物質を放出しないなど、魅力的なコンセプトである。実用化に向け、ラボスケールからスケールアップして実証試験を行い、これに伴う問題点を抽出したこと自体がまず大きな成果と言える。さらに、品質管理がシビアになる部品の見極めや改良により、約 1 週間にわたる長時間継続運転を達成している。これらの実績は高く評価でき、技術支援分野に優れた貢献の功労を称える技術功労賞にふさわしいものとする。

○受賞者

日本原子力研究開発機構 大洗研究所  
高温ガス炉研究開発センター 水素・熱利用研究開発部 IS プロセス試験グループ  
竹上 弘彰、田中 伸幸、野口 弘喜、上地 優、岩月 仁、笠原 清司、今井 良行、  
オドツェツェグ・ミヤグマラジャブ

原子力エンジニアリング株式会社  
照沼 孝志、米川 日出男、佐藤 義高

株式会社日本アクシス  
藤村 紀行

## 第 34 号

日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所

研究炉加速器技術部 JRR-4 管理課

代表 羽沢 知也 様

### ○受賞案件名

「JRR-4 の廃止措置に向けた技術管理業務の遂行」

### ○受賞概要

JRR-4 では長年の施設管理や共同利用への施設提供により、遮蔽実験、医療照射、放射化分析、原子力技術者の養成等に貢献してきている。2008 年に原子力学会歴史構築賞を受賞した後もこれを継続していたものの、2011 年の東日本大震災を機に廃止措置に臨むことになった。このような移行にも適切に対応して維持管理を遂行している。さらに、廃棄物低減やコスト削減等、他の施設でも応用できる研究開発要素を見つけ、廃止措置計画の認可申請という実務の中で具現化し、規制庁からの認可も取得している。これらの実績は高く評価でき、技術支援分野に優れた貢献の功労を称える技術功労賞にふさわしいものと考えます。

### ○受賞者

日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所

研究炉加速器技術部 及び 放射線管理部

羽沢 知也、大山 光樹、石黒 裕大、根本 勉、助川 正典、鈴木 清彦、根本 吉則、川和 賢一、

沼田 克彦、山外 功太郎、角田 潤一、高宮 圭、石井 雅人、佐藤 達也

以上